

次代を担う子どもが健やかに生まれ、元気に育つための子育て支援策

「寄居町次世代育成支援対策行動計画（後期実施計画）」

後期実施計画

後期5カ年計画の第4年次実施結果を報告します！
町では「寄居町次世代育成支援対策行動計画（後期実施計画）」に基づき、総合的かつ計画的な子育て支援策に取り組みました。
今回は、平成25年度に実施した主な事業の概要をご紹介します。

1. 子育てしているすべての家庭のために

①親子が気軽に相談、交流できる場の充実

○地域子育て支援センター事業の充実
子育て家庭等に対する育児不安などについての相談・指導、地域の保育資源の情報提供など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。

年間利用者 6,185人

○保育所の活用

寄居保育所で、毎月第4土曜日に親子ふれあい広場を実施するとともに、私立保育園での保育所地域活動事業やミニ子育て支援センター事業を実施しました。

②子育て支援情報の充実

○子育て応援ブックの増刷・配布
平成23年に作成した子育て応援ブック（A5版80ページ）を400冊増刷し、出生・転入時に子育て支援課へ来庁した方に配布しました。町公式ホームページから閲覧できるようにしています。
○親と子の健康と福祉の充実
○妊婦・新生児訪問指導の充実
訪問指導が必要な妊産婦に対し、出産に対する不安解消を図り疾病の予防や早期発見に努めました。また、新生

児（出生時）全数訪問事業とこんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）を実施し、育児の不安解消と乳児の異常の早期発見に努めました。

妊婦訪問 延4件

新生児全数訪問およびこんにちは赤ちゃん事業の訪問は同時実施
対象203人、訪問203人

○乳幼児健康診査の充実
身体発育、精神発達などの障害を早期に発見するとともに、適切な保健・歯科指導を行いました。

4・5カ月児健康診査 年6回実施
1歳6カ月児健康診査 年6回実施
3歳児健康診査 年12回実施

○要保護児童対策地域協議会の設置
要保護児童対策地域協議会で関係機関との連携により組織的に対応し、虐待の早期発見・早期対応に努めました。

④要保護児童対策の推進

○児童虐待の防止
虐待を未然に防止するため、広報誌に子どもの人権110番等を掲載し、PRを行いました。

○要保護児童対策地域協議会の設置
要保護児童対策地域協議会で関係機関との連携により組織的に対応し、虐待の早期発見・早期対応に努めました。

⑤障害児施策の充実

○障害児通園事業の推進
心身に障害のある児童に対し、日常での基本動作の指導や、集団生活への

適応訓練を行う施設へ通園する幼児の保護者へ支援を行いました。

利用者数 24人

⑥ひとり親家庭の支援の充実

○ひとり親家庭福祉事業の充実
母子および寡婦福祉資金制度やひとり親家庭就学援助制度の普及に努めました。

⑦経済的支援の充実

○こども医療費支給事業等の推進
こども医療費支給件数 51,539件
ひとり親家庭等医療費支給件数 3,094件

○児童手当・児童扶養手当制度等の普及PR

0歳から中学3年生までの保護者に支給しました。
児童手当支給対象児童 3,839人
児童扶養手当支給者 325人

2. 働きながら子育てしている家庭のために

①子育てと仕事の両立の支援

○仕事と生活の調和の普及啓発
男女共同参画講演会を実施し、普及啓発に取り組みました。

2月4日「男女共同参画の視点からの防災対策のススメ」参加者88人

②多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実

○低年齢児保育の充実
公立保育所で8人、私立保育園で35人の低年齢児保育を実施しました。

○延長保育の充実
寄居保育所と私立保育園4園で延長保育を実施しました。

利用者数 寄居保育所 延597人
こぶし保育園 延502人
ゆずの木保育園 延350人

いずみ保育園 延1,991人
寄居のこキッズ保育園 延805人

○一時保育事業

保護者の就労形態や疾病などにより、一時的に保育を必要とするお子さんにに対し、保護者に代わり保育を実施しました。

公立保育所 延299人
ゆずの木保育園 延85人
寄居のこキッズ保育園 延132人

○保育所の整備

男衾保育所の門扉の修繕およびガスタの入替えを行い、保育環境の向上と児童の安全を図りました。

③放課後児童クラブの充実

○放課後児童保育施設の整備充実
7カ所の学童クラブで入所要件に適合する児童280人を受け入れました。また、特別支援学校放課後児童クラブで児童7人を受け入れました。

3. 次世代を育む親となるために

①家庭教育に関する情報提供および学習の機会の充実

○各種講座・学級の開催
「すこやか子育て講座」の開催により、就学前の子どもを持つ保護者の不安解消を図りました。「家庭教育学級」の開催により、児童の保護者に対して「家庭教育」のPRを行いました。

②幼児教育・学校教育の充実

○教育に関する3つの達成目標の推進
学力については「読み書き」で小学1・4・6年生、中学2年生で目標値を達成しました。「規律ある態度」は全般的に目標値を達成しました。「体力」では体力テストの小・中学校の総合得点が県内第4位でした。

○食育の推進

給食による食育の推進
食育全体計画を作成し、望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通して自ら健康管理ができるよう努めました。

4. 子どもが健全に育つ町づくりのために

①多様な体験プログラムの充実

○ボランティア体験機会の充実・促進
ボランティア体験プログラムを4項目用意し、102人が体験しました。
○農林業体験の充実
寄居町農業活性化協議会の指導を受けながら、町立保育所児童によるサツマイモ掘り体験を実施しました。また、町内の緑の少年団が全国育樹祭に参加しました。寄居小学校緑の少年団および中町ジュニア緑の少年団による、金尾地内と保田原地内の山林の下刈りボランティアを実施しました。

②子ども遊び場の充実

○児童館事業の充実
幼児クラブやどんぐり会、児童福祉月間事業（人形劇）等を実施し、児童の健全育成を図りました。

③子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○給食による食育の推進

食育全体計画を作成し、望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通して自ら健康管理ができるよう努めました。

④思春期保健対策の推進

○薬物乱用防止教室の実施
喫煙・飲酒・薬物乱用による心身の健康への影響等を理解させるため、小・中学校で専門家による薬物乱用防止教室を開催しました。

⑤子どもが健全に育つ町づくりのために

①多様な体験プログラムの充実

○ボランティア体験機会の充実・促進
ボランティア体験プログラムを4項目用意し、102人が体験しました。
○農林業体験の充実
寄居町農業活性化協議会の指導を受けながら、町立保育所児童によるサツマイモ掘り体験を実施しました。また、町内の緑の少年団が全国育樹祭に参加しました。寄居小学校緑の少年団および中町ジュニア緑の少年団による、金尾地内と保田原地内の山林の下刈りボランティアを実施しました。

②子ども遊び場の充実

○児童館事業の充実
幼児クラブやどんぐり会、児童福祉月間事業（人形劇）等を実施し、児童の健全育成を図りました。

③子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

○子ども人権の尊重
子ども人権の尊重

寄居町次世代育成支援対策行動計画（後期実施計画）

平成22年度から平成26年度までの5カ年計画

子育て支援サービスなどの目標事業量を設定し、具体的な取り組みを推進しています。平成25年度の実績・評価については次のとおりです。

事業名	指標	平成26年度目標事業量	平成25年度実績事業量	平成25年度評価
①通常保育事業	定員	公立450人、私立237人	公立450人、私立247人	順調
②延長保育促進事業	箇所数	5カ所	5カ所	順調
	利用者数	100人	延4,245人	
③一時保育事業	箇所数	4カ所	6カ所	順調
	利用者数	40人	516人	
④障害児保育事業	箇所数	公立4カ所、私立4カ所	公立4カ所、私立5カ所	順調
⑤放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	箇所数	6カ所	7カ所	順調
	定員	330人	345人	
⑥ファミリー・サポート・センター事業	箇所数	1カ所	1カ所	やや遅れている
	定員	50人	登録者数は依頼会員（預ける）4人、提供会員（預かる）5人で、相互援助活動（放課後児童クラブの迎え）は延25件	
⑦地域子育て支援センター事業	箇所数	3カ所	4カ所	順調
⑧保育所整備事業	箇所数	3カ所	平成23年度に2カ所改修	順調
⑨子育て支援のネットワーク化	—	6カ所以上	平成18年度から実施	順調